

Behrens 連続講演 準備セミナー

文部科学省科学研究費基盤研究 (C) 課題番号 19540087 (代表 島川和久)
文部科学省科学研究費若手研究 (B) 課題番号 18740040 (代表 鳥居 猛)
文部科学省科学研究費基盤研究 (B) 課題番号 16340015 (代表 南 範彦)

による研究集会を開催致しますのでご案内申し上げます。

日時 : 2007年12月26日(水)午後 ~ 12月27日(木)夕方
会場 : 岡山大学理学部 2号館 3階 合同演習室 (D-301)
〒700-8530 岡山市津島中三丁目 1-1
TEL: 086-251-7801

交通案内が以下の岡山大学理学部のホームページに掲載されておりますので、御参照ください。

<http://www.math.okayama-u.ac.jp/mathaccess.html>

Mike Hopkins さんは、Haynes Miller さんや Paul Goerss さんと共に、楕円コホモロジーの親玉的な一般コホモロジー論的存在である Topological Modular Forms (略して TMF) を構成しましたが、Mark Behrens さんと Tyler Lawson さんは、Local Langlands に現れる 1次元 formal group に着目して Topological Modular Forms と同様な構成を行い、Topological Automorphic Forms (略して TAF) という一般コホモロジー論を構成しました。そしてこれは、現在極めて多くの研究者の関心の的となっております。

今回、この Topological Automorphic Forms の構成で中心的な役割を果たされた Mark Behrens さんに 2008年1月21日(月)~25日(金)の日程で名工大に於いて連続講演をしていただけることになりました。それに伴い、この Mark Behrens さんの連続講演のための準備セミナーを開催することとなりましたので、お知らせいたします。

この準備セミナーでは、TMF や TAF を構成する上でホモトピー論的に最も基本となる障害理論を、Derived Algebraic Geometry における Derived Artin's Representability Criterion の観点から考察した Jacob Lurie さんの仕事と、Bertrand Toën さんと Gabriele Vezzosi さんの共同の仕事の、周辺と概略を、以下の論文を中心として説明することを目標とします：

Bertrand Toën and Gabriele Vezzosi, *Homotopical Algebraic Geometry II: geometric stacks and applications*, <http://arxiv.org/abs/math/0404373>

それ故、ホモトピー論的応用を念頭にはしておりますが、実際の講演は「Homotopical Algebraic Geometry 入門」的な色合いが濃くなります。

プログラム

12月26日(水) 午後: 2号館 3階 合同演習室 (D-301)

13:30 ~ 夕方: 南範彦, Model Topos

12月27日(木) 午前: 2号館 3階 合同演習室 (D-301)

9:30 ~ 12:00: 南範彦, Homotopical Algebraic Geometry とその諸例

12月27日(木) 午後: 2号館 3階 合同演習室 (D-301)

13:30 ~ 夕方: 南範彦, Derived Artin's Representability Criterion

なお、講演者には、講義録を作成して Mark Behrens さんの連続講演までにはそれを適当なホームページで閲覧可能にするよう、申しつけてあります。

組織委員:

島川和久 (岡山大学理学部)
鳥居 猛 (岡山大学理学部)
南 範彦 (名古屋工業大学)

お問い合わせ先: 鳥居 猛 (岡山大学理学部) torii@math.okayama-u.ac.jp